

生善院観音堂(球磨郡水上村)

江戸前期(1625年)に、人吉藩で起きた化け猫騒動に因み、その怨霊を祀るために人吉藩主相良氏によって創建された/桁行三間、梁間三間/寄棟造の茅葺/二軒/向拝一間が付く/厨子や須弥壇をはじめ、内外とも全て漆仕上げとし、彫刻などに極彩色や金箔を施した豪華な造りとなっている



しょうぜん いん つうしょう ねこ てら 生善院(通称 猫寺)

猫寺伝説

てんしょう 一五八二 さが ら はん む ほん くわだ
天正十年(一五八二)、相良藩への謀反を企てているという
うそ うった ゆ やま さ の か み む ね ま さ ふ もん じ せい よ ほう いん
嘘の訴えにより、湯山佐渡守宗昌とその弟で普門寺の盛誉法印が
殺されることになった。その話を聞いた宗昌は日向へ逃げたが、
寺に残った法印は殺され、寺も焼かれてしまう。

く げつ ぜん にょ あいびょう
無実でありながらわが子を殺された法印の母、玖月善女は愛猫
たまたれ いち ふさ じん じゃ さん ろう か
玉垂を連れて市房神社に参籠し、自分の指を噛み切ってその
しん ぞう まつ だい おんりょう
血を神像に塗りつけ、玉垂にもなめさせて、末代までも怨霊に
なつて相良藩にたたるように言いふくめ、茂間が崎というところに
身を投げて死んでしまう。すると、相良藩では、猫の怨霊が美女や
や しゃ はん しゅ まくらもと き き かい かい
夜叉に化けて藩主の枕許に立つなど、奇々怪々なことが次々に
起きた。

れい あと せんこうざん
藩では霊をしずめるために普門寺跡に干光山生善院と名づけて
こんりゅう かん の ん どう
寺を建立。現在の本堂も観音堂も、その時に建てられたものだ。
めい にち はん びん
法印の命日である三月一六日に、藩民に市房神社と生善院に
さん けい
参詣するように命じ、藩主自身もそうしたので、怨霊のたたりは
しずまったと伝えられている。

In the 10th year of Ten Fumonji Temple were fact to raise a rebellion aga but Houin remained at th Kugetsu Zenny, who had Shrine for prayer togeth the blood on the God an curse upon the Sagara Cl herself. This triggered v spirit of cat changing i lord. At the clan, in or Seizenin on the site of f this period. On March 161 to make a pilgrimage to it is said that the ghos

텐쇼(天正)10년(1582년), 마사(湯山佐渡守宗昌)와 그 들은 무네마사는 휴가로 도 자식이 죽임을 당하자 호인 (市房神社)로 들어가 자신의 되어 사가라번(藩)에 복수를 현령이 미녀와 아차로 둔갑 에서는 현령을 달래기 위해 현재의 본당도 관음당도 그 (市房神社)와 쇼젠인(生善院)

天正十年(1582年), 由于被个消息, 宗昌逃往日向, 但法印的母亲玖月善女带着爱嘱咐它死后变成怨灵诅咒相站住藩主的枕边, 相良藩发善院。现在的主堂和观音堂, 生善院参拜, 藩主也亲自前

天正十年(1582年), 由於被謠宗昌逃往日向, 但留在寺內的玖月善女帶著愛貓玉垂來到, 為怨靈詛咒相良藩, 然後便在藩發生了各種詭譎的事。相良音堂亦為當時所建。傳說當時前往, 因此怨靈逐漸不再作祟

通称「猫寺」と呼ばれ、狛犬ならぬ「狛猫」が・・・



右手から見たところ

[video](#)



「国指定重要文化財 生善院観音堂」と刻まれた標柱



右側面を見たところ



その右手から見たところ





その右手に別の説明板があった



生善院は、謀反の疑いにより
非業の死をとげた普門寺盛譽と、
その後を追って死んだその母玖
月善女を祀るために、寛永2年
(1625)に人吉藩主相良長
毎によって創建された。この玖
月善女の愛猫伝説から「猫寺」
とも呼ばれている。堂内の須弥
壇や厨子も当初のもの。

生善院観音堂は、堂内の金箔
や極彩色の厨子や須弥壇、ある
いは堂の内外を漆塗りとした靈
屋的な意匠を持つ点に特徴があ
る。保存状態もよく、豪華な造
りで、球磨地方の江戸時代前期
の代表的建造物として価値は高
い。

前面の棧唐戸と極彩色の虹梁や臺股など

 video



いやはや、凄いですな！



組物は出組/中備えは臺股/軒支輪が付く

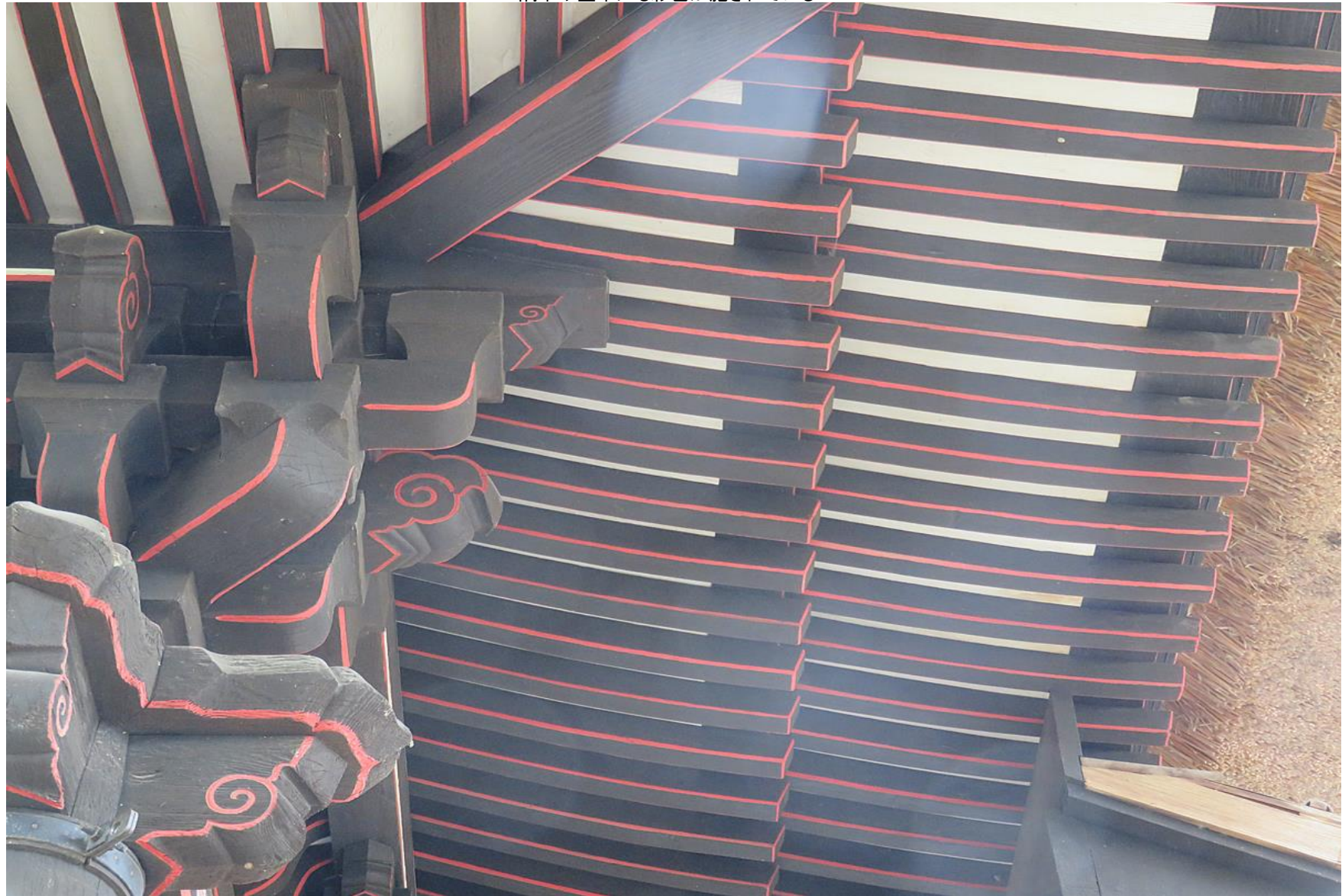


長押の上には格狭間/その上の小壁には植物をモチーフにした絵柄

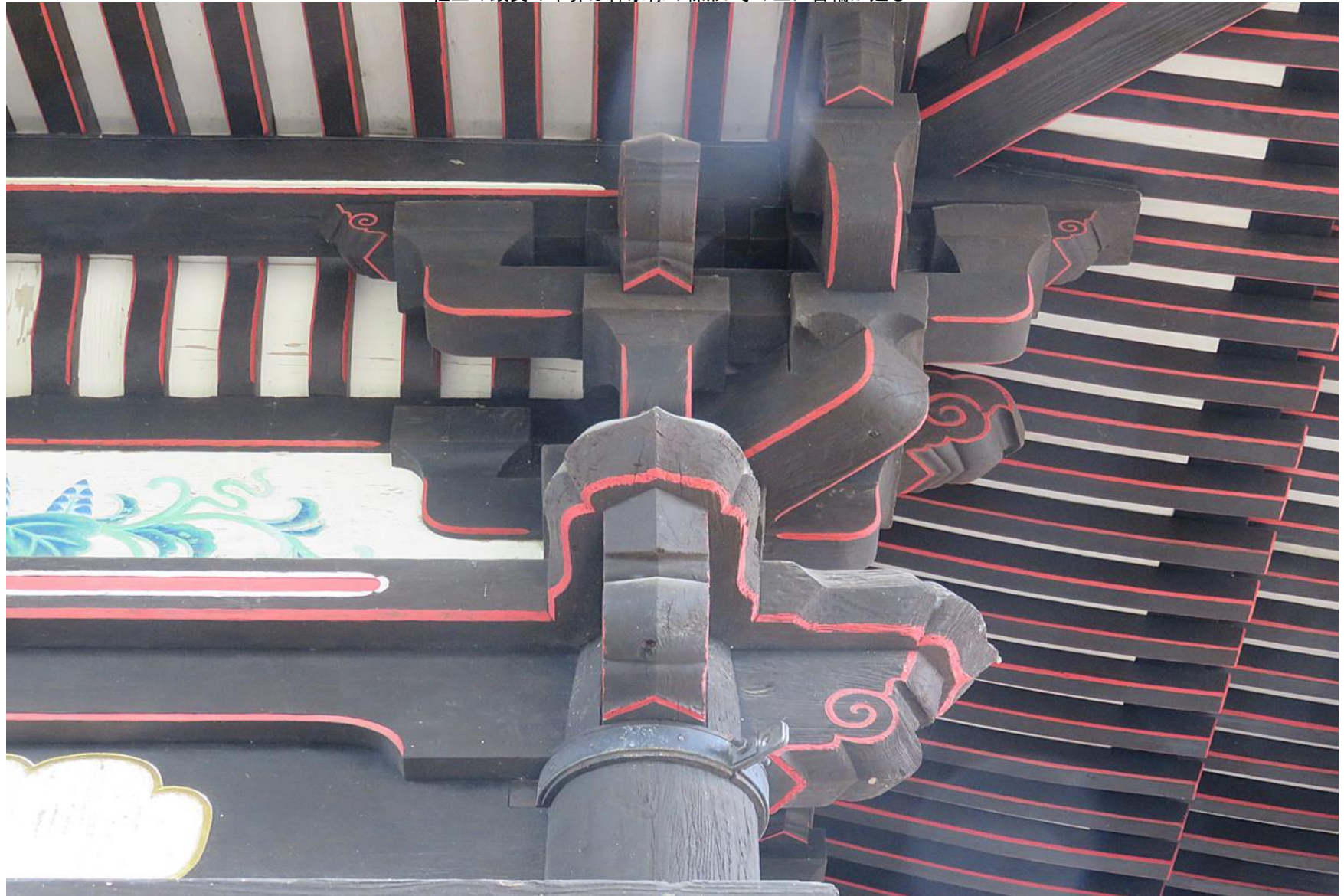




隅木や垂木にも彩色が施されている



柱上の頭貫の木鼻は禅宗様の繰形/その上に台輪が廻る





組物は出組/軒支輪が付く



格狭間と、小壁の植物をモチーフにした絵柄



向拝を右手から見たところ



彩色が施された海老虹梁



向拝柱と海老虹梁の取り合い部



境内には「水上村指定天然記念物 ウスギキンモクセイ」が自生していた



